

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成28年7月21日 (2016.7.21)

【公開番号】特開2013-256944(P2013-256944A)

【公開日】平成25年12月26日 (2013.12.26)

【年通号数】公開・登録公報2013-069

【出願番号】特願2013-119356(P2013-119356)

【国際特許分類】

F 0 1 D 11/02 (2006.01)

F 0 1 D 11/08 (2006.01)

F 0 1 D 25/00 (2006.01)

F 0 2 C 7/28 (2006.01)

【F I】

F 0 1 D 11/02

F 0 1 D 11/08

F 0 1 D 25/00 M

F 0 2 C 7/28 A

F 0 2 C 7/28 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月3日 (2016.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ハウジング（76）、回転可能なシャフト（46）及び前記回転可能なシャフトから外側に延在する動翼（78）を含むタービン（32）で使用されるシュラウド（56）であって、

前記ハウジングに結合し、第1の端部（112）、第2の端部（114）及び第1の端部と第2の端部との間に延在する本体（116）を備える整列部材であって、第2の端部（114）が、前記動翼から下流の漏洩流（24）を促進させるように構成された弧状部分（128）を含んでいるとともに、第2の端部（114）が、（i）一对の略直線部分（124、126）であって、弧状部分（128）が一对の略直線部分の間に延在する一对の略直線部分（124、126）、或いは（ii）第1の端部（112）と前記弧状部分（192）との間に延在する略直線部分（190）をさらに含んでいる、整列部材と、

前記動翼と前記本体との間に画成されるギャップ（16）の封止を促進させるように前記本体に結合するシール（60）とを備える、シュラウド（56）。

【請求項 2】

前記弧状部分（128）が前記ハウジングから半径方向外側に延在する、請求項 1 記載のシュラウド（56）。

【請求項 3】

第2の端部（114）が一对の略直線部分（124、126）を含んでいて、前記略直線部分（124、126）のうちの第1のものは、前記略直線部分（124、126）のうちの第2のものに対して斜めに配向される、請求項 1 又は請求項 2 記載のシュラウド（56）。

【請求項 4】

前記本体（１１６）が第１の溝（１３２）及び第２の溝（１３４）を備えており、第１の溝及び第２の溝は、第１の溝が第１の長さ（１４２）を有し、第２の溝が第１の長さより長い第２の長さ（１４９）を有するように前記本体内で画成される、請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項記載のシュラウド（５６）。

【請求項 5】

第２の溝（１３４）が、前記本体（１１６）に対して第１の角度（２０４）で配向した第１の傾斜側と、前記本体に対して第２の角度（２１０）で配向した第２の傾斜側とを有しており、第１の角度が第２の角度より大きい、請求項 4 記載のシュラウド（５６）。

【請求項 6】

第２の端部が、前記タービンのノズル側壁と流体流れ整列するように構成される、請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか 1 項記載のシュラウド（５６）。

【請求項 7】

ハウジング（７６）と、
前記ハウジング内で回転可能に支持されるタービンシャフト（４６）と、
前記タービンシャフトに沿って配置され、前記ハウジング内に収容される複数のタービン段（９６）と
を備えるタービン（３２）であって、各タービン段が、
前記タービンシャフトに結合するロータ（５８）であって、前記タービンシャフトから半径方向外側に延在する動翼（７８）を備えるロータ（５８）と、
前記ハウジングに結合した請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか 1 項記載のシュラウド（５６）と
を備える、タービン（３２）。

【請求項 8】

前記本体（１１６）が第１の溝（１３２）及び第２の溝（１３４）を備えており、前記シール（６０）が、第１の溝と第２の溝の間のシール歯（１５６）であって、ギャップ（１６）内に延在するシール歯を備える、請求項 7 記載のタービン（３２）。

【請求項 9】

前記動翼（７８）が第１の半径方向歯（１５８）及び第２の半径方向歯（１６２）を備えており、第１の半径方向歯（１５８）が、前記シール歯（１５６）から第１の距離（１６０）離間し、第２の半径方向歯（１６２）が、シール歯 １５６ から第２の距離（１６４）離間しており、第１の距離（１６０）が第２の距離（１６４）より長い、請求項 8 記載のタービン（３２）。